#### Asian Educator's Conference 2013



# Case study of Chiba Zoological Science Club (CZSC)

「ちば生きもの科学クラブ」の事例研究

12/11/2013
MARINE WORLD umi - no-nakamichi

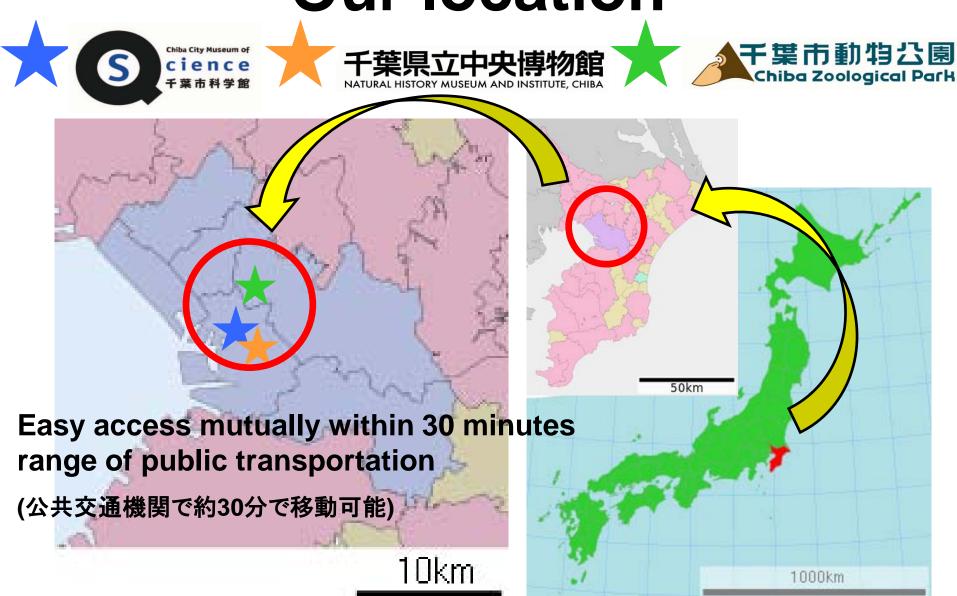
HARIGAYA Akiko (Chiba City Museum of Science) MATSUO Tomo (Chiba City Museum of Science) OHKI Jun'ichi (Natural History Museum and Institute, Chiba) BANNO Shuichi (Chiba Zoological Park)



千葉県立中央博物館 NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA



## **Our location**









# < Outline >

•What is CZSC?

How we cooperate to?

(クラブの運営体制と連携館園について)

Our club goals and activities.

(クラブのねらい・活動内容について)

Voice from members and coordinators.

(参加者と関係者の声)

• Future steps.

(今後の展望と課題)

## What is CZSC?

Chiba Zoological Science Club(CZSC) started since 2012 as a brand-new program of collaboration!

2012年開始の新しいクラブ!



The host museums



千葉県立中央博物館 NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA



## 1. Chiba City Museum of Science (§





Over 140 exhibitions (体験型展示)



**Daily workshops** 

in Lab space

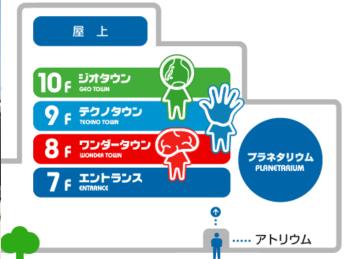
(実験・工作教室)



Workshops by experienced volunteers

(VLによるミニワークショップ)







#### 千葉県立中央博物館

#### 2. Natural History Museum and Institute, Chiba









Displays of geology of Chiba area

房総の生物展示室







Displays of natural life of Chiba area Exhibitions of animals classified

海洋展示室

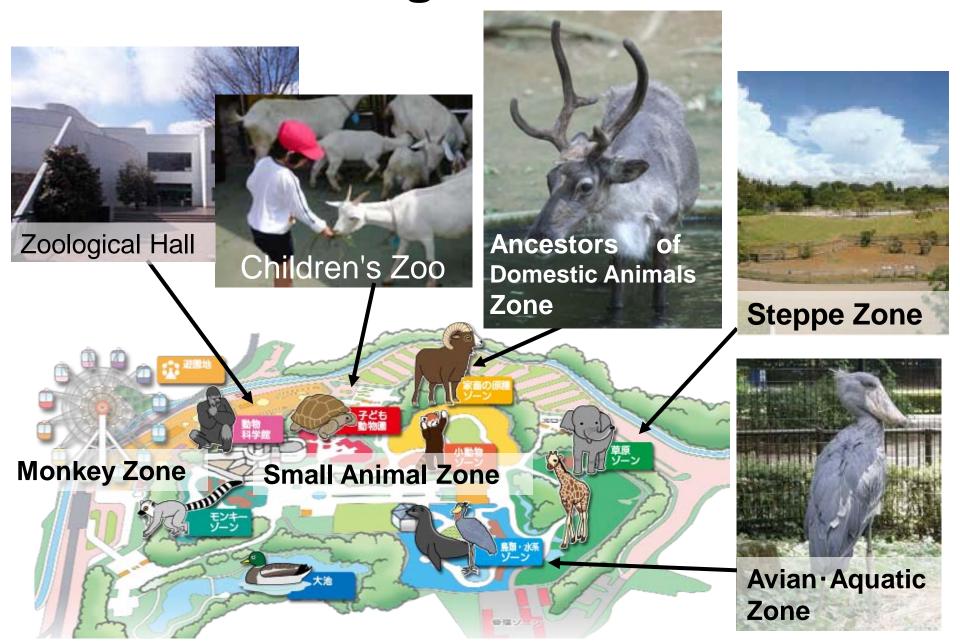
人と自然のかかわり展示室



Interaction of nature and man

## 3. Chiba Zoological Park





## Summary of each specification

	S Chiba City Museum of Cience 千葉市科学館	千葉県立中央博物館 NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA	干葉市動均公園 Chiba Zoological Park
Start <sup>開館年数</sup>	7 years since 2007	25 years since 1989	29 years since 1985
Visitors 入場者数	406,200 in 2012	193,400 in 2012	613,400 in 2011
Work contents <sup>業務内容</sup>	education (various programs),displays ★教育普及、展示	research, collection, displays, education ★研究、資料収集、展示、教育普及	breeding, recreation conservation, education  ★飼育展示、種の保存、教育普及 レクリエーション
Display <sub>展示物</sub>	140 displays with planetarium	800 thousand registered specimens, field-work area	876 specimens of 142 species
Role in CZSC	planning managing	meeting place specimen	meeting place specimen
クラブでの役割	budget	some programs	some programs

## < Outline >

• What is CZSC?

How we cooperate to?

(クラブの運営体制と連携館園について)

Our club goals and activities.

(クラブのねらい・活動内容について)

Voice from members and coordinators.

(参加者と関係者の声)

• Future steps.

(今後の展望と課題)

## Our club GOAL



Our programs provide memorable chances to study wild life scientifically. Through this programs, CZSC members become "active researcher"

生きものや自然を<u>科学的に観て楽しむ</u>姿勢を養い、

参加者が主体的に活動し、発信者となる

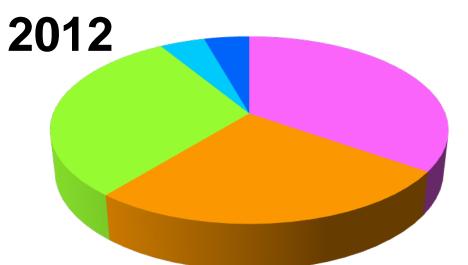
## The outstanding points of CZSC

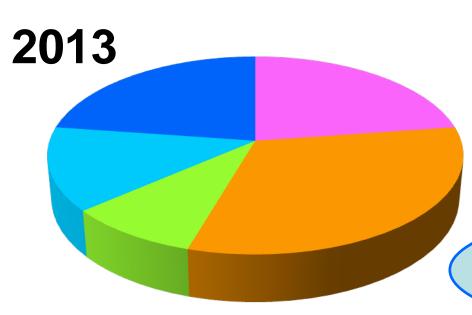
(クラブの特色)

●Club members(クラブ生): 小学校4年生~シニアまでの幅広い年齢層がともに活動 From 4th grade school children to senior citizens, working together in all programs.



## **Ratio of Participants**





	2012	2013
4th grade (Elementary school)	8	5
<b>5th grade</b> (Elementary school)	6	7
6th grade (Elementary school)	7	2
Junior high school	1	3
Adult	1	5
Total	23	22

Adult participants with their child are increasing in 2013!!

## The outstanding points of CZSC

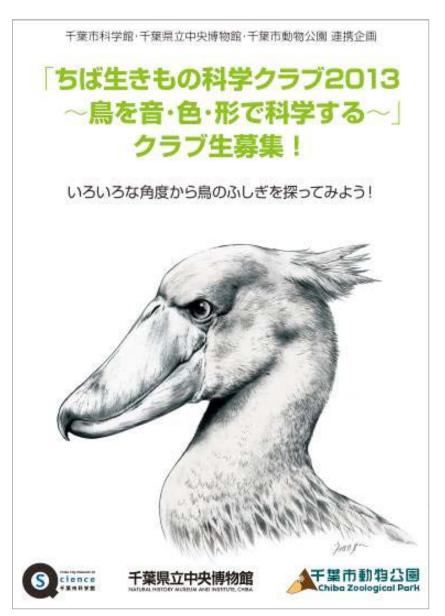
(クラブの特色)

- Activity (活動内容) : ①様々な角度からテーマに迫るプログラムに参加② 各個人が課題を決め、調査・まとめ・発表までを行う
  - •Through CZSC programs, members could be taken various type of lectures by three specific organizations.
  - They need to do their research and report by themselves. In addition, at the end of the program, members make a presentation like "real researcher".
- Supporting staff(サポート体制): ①それぞれの機関から専門家が関わる ②特定のボランティアが、研修を経て活動を支援する Easy to access to experts of each institutes.

  Dedicated and well educated Volunteers help this club.

### Main subjects of CZSC (これまでのテーマ)





2013 Birds (鳥類)

Detail of 2012 CZSC





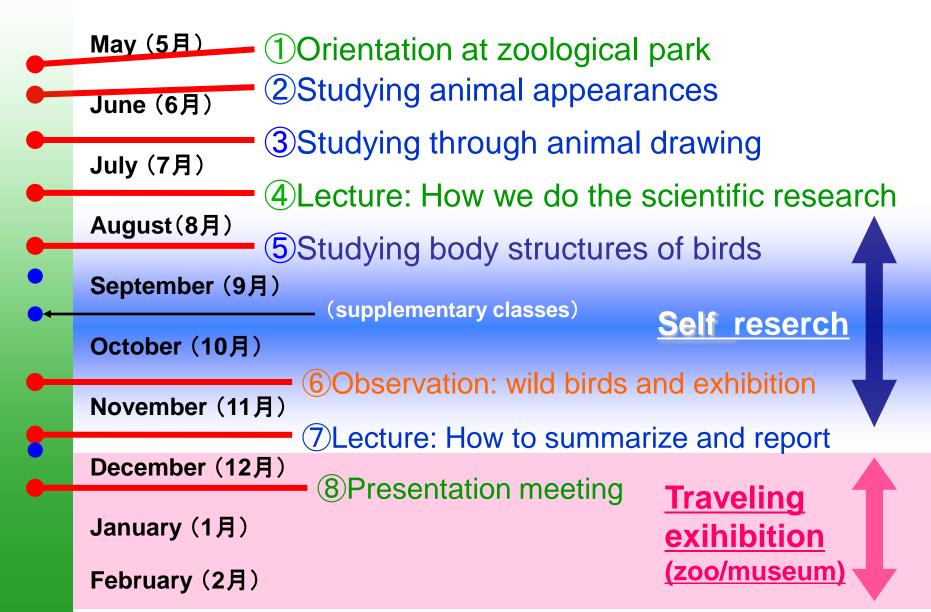








## Annual plan for 2013 CZSC



## 





Observe world-wide birds in Chiba Zoological Park to know their characteristics.

#### **Observation**

#### Communication

Communicate with other participants and volunteers through the quiz time about birds.

## Specific programs at



#### Scientific research

Research the characteristics of birds



#### **Science Illustration**

Illustrate research findings.

## Specific programs at







#### Skill up training: report making and presentation

Study the effective way of report making and presentation

through the lecture, training and discussion with other participants.

## Specific programs at 千葉県立中央

NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

Observation of wild birds around us, to know their characteristics.

Bird watching



#### Lecture

Lecture directly from researchers



## Presentation Meeting(2012)









### **Topics chosen by Club members (2012)**

クラブ生の作品例

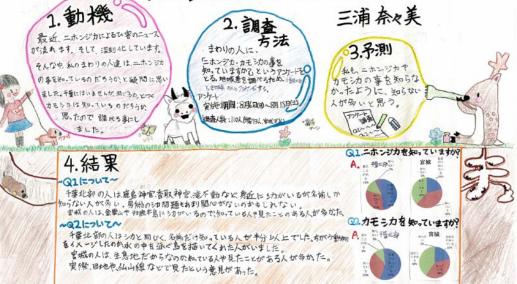




"Reindeer gait." (adult Club member) Do you know how wild deer and serow live?" -coexistence of man with wild animals-

(6th grade school children)

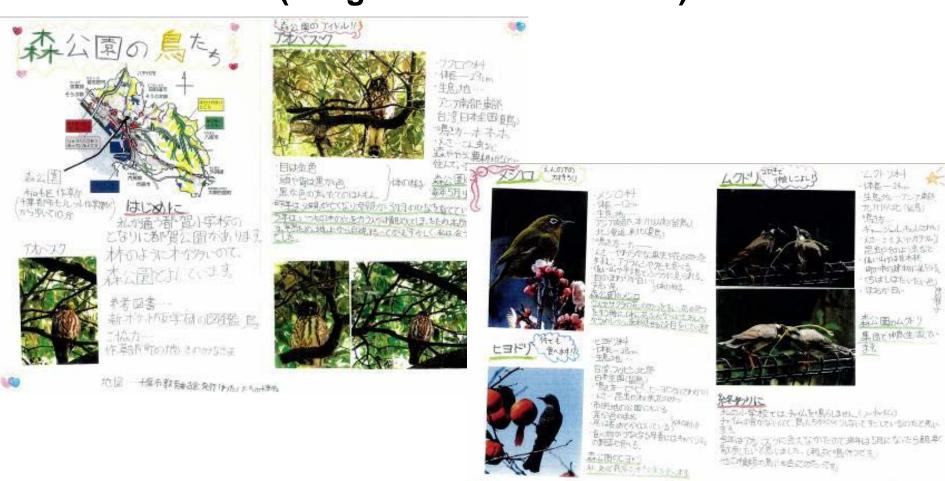
あなたは知っている?野生のシカ・カモシカ かんと動物との 今後の共存~ 動機





## Topics chosen by Club members (2013)

"Various birds in Chiba City Wood Park" (4th grade school children)



## Topics chosen by Club members (2013)

"How to prevent scattering plastic garbage bags by crows?" -What we should do?- (adult Club member)

#### 害、どうすれば防げるか 私たちがすぐにできることを考

デーマエ「神の使いか害鳥か?」でわかいたことは、決してカラスが狂暴化 したわけでも、悪気があったわけでもなく、人間の生活や農業の変化が

Are crows really smart?

#### カラスを矢のろう一カラスは本当に頭が良いか?

- のカラスは記憶力が良く、人の顔も見わけることも、数の大小もわかることが実験で明らかによれている。マ、カラスの鳴き声は41種類も確認されて いて会話が成り立っているちしい。
- 。世界には枝を使って虫をほじり出して食べるかってがいる。 日本でもかたい木の奥を高い所から落として刺ったり、わざとクルマにひかせ すくだいて食べるカラスが知られている。
- 。カラスはな遊びようだ。)遊びようなしぐさが日撃されている。 私的も大風のBにメタセコイヤの一番ていたんの不安定な枝にかかかが 火までがあんでいるカラスを何度も目にしている。

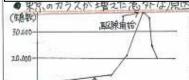
What do they like to eat most of all?

#### カラスは何が好きか?

- のカラスは野菜よりも肉が好きで、特に「あがら」が好き。
- あぶらが含まれたマヨネーズも大好きで、容然を持ち去って中身を食べる。

カラスはどうやってエサをさがすのか?

How are they looking for foods?



事充23Bのゴミ袋は、1993年にそれまで使用して いた思い祭を禁止し、半夜明のものを使うように なった。そのため経の中の食べ物が一目でわかる ようになり、カラスの食べ物さがしの効率があがった。 そのせいひ その後とんどん カラスの数が

#### 数値でみるカラスの賢さ

● いろいろな島の歌のあさ

名 前	サンプルの数	脳の重さ
ハシットガラス	5	(0.7
ハシボソかラス	6	8.8
アヒル	3	6.2
カモ	6	5-9
ニワトリ	3	3.6
111	3	2,3
スズメ	6	1.2

注:数値は頻繁を輸ぶとサップルの平均値

カラスの脳が大きいのはわかるが、体が 大きければ脳が大きいのは当然ともいえる ので、体重と脳の重さのかかわりから脳の凝塵 の場合いの指標となる「脳化指数」でもみてみる。

#### Then, how should we do to live friendly with them?

動物名 聯化議 動物名 EF 0.89 カマ 0.10 0.64 0.09 1101 0.08 F>1825-0.30 E 7° 7 內竹书 0.07 # 14 0.25 クジラ 0.21 n 3/ 0.06 0.16 7" 9 0.05 カラス 0.05 12 0-14 力モ ネコ 0-12 0.04 スズメ 0:12 = 71-11

質出方法は 脱の重から体重の3分の2乗

ではその対策とは?…すべてカンタンなことでした!! ·ずばり、ゴミ彼の中に新聞紙をしきつめて中身を見えなくしてしまう。 ·人の生活を見直し、食べ物を捨てないようにする。 Dhitestry 11 ·ゴミ収集の時間の直前にゴミを出す。

あとがき・・・カラスを調べれな調べるほど、カラスが好きになってしまいました。 そしてすぐ出来3か2つな対策を皆に知る欲いと思いました。そうして カラスを嫌うことが減り、ひじかつでも野生動物とは自然な形に戻ればいい と履うばかりです。

参考文献…いったしのカラス研究、幹田住後、「人はなどカラスとともだちになれないのと」 「カラスとかしく付き合う法」移田昭東、「カラスの大研究」国松俊英、「カラス経験曲」今泉、忠明 TACTANTONTE、「動の下来、「動い日本的色の今「カラフの教料書、花原文的



### **Topics chosen by Club members (2013)**

#### "Characteristics of Bird bones"

(adult Club member)

の骨格について

の無が時に手幣に人間に近い関係がある・・・・と書物で読み、どんな所が 類似しているのが、調べてみようと思いました。

の「真の骨膜紙掛す事の傳物館を見に行き増生趣味源くなり、夢について期からみました

空を続すな一島(ゲック・キーグロと)は影響を手できずらむはひい

○傅以福 軽く細い、島の骨を実際に観察し、まるで羽が終ひ、乗事しかないことに 盤のもした。 Lかしその作りは大変丈夫にお来ていよことを矢町 実際に、観察 しながら、生態を細かく調がてみようとにしました

● ● 石毛多索子 ●

○反対に並説的に「雅ばない島」は、真なのによういう理由から確ぼないのが、耐バチした。 (ボランティアの方に説明して載いたりカメラで撮影しました) 島の生命の不見議 島の望の骨と人間の腕の骨の比較 たガラス優を以上的に、見出額以外に姿を置ふ動物が、いなが、た時代にハラびトカケットが以及を対力が不利 聞もなるちょうたり回ふべいりに、滑空するようにないた。最初は、皮膚のログガバラシェートの伸がまをして、滑空に いたが、レド・トー関発と呼ばれる響を持、な視点類が進化してきた、視点機が必進化は及よ類は、 张行機能を得し為い、肥其幾不来3条格に多くの変形が施す必要が有。た. 地上一種の上での移動は後肢でかり持ちその為、骨盤と後肢が実形した。 こうして名類は和達人間と同じ二尺動物にひた、金利と人間との同いは 形のよとは大きな相違が有いとも、抱わらず真物が好として、驚くばかり 人間に近い関係を感じませる 島が強がありまれば 18七人どの島は高度に発達した勝鳴によって 金かかされる。なくサドデザインされた量をもつ。 水江 空虽接抗色少公人表的形的流锋形。 船林は国く、軽く本来ないる 撃を動かす、筋肉はとても大きく、そのよ 是小百至三十分 长度水水 大変丈夫に作うれ Laberで毎に変形了るあのオーライスを本う といる、 速くて よく種様化でれた、消化器官 指广马本口满少(古学性的物及全文系和首 質解筋の固制は膨影と物影核 や呼吸数官のしいれて、含べ物を書早く消化し 人間も原始的905年4指) ルルダムから単指 能事的に排出している。このことで体を増化が とい語はない、そして、心の人ようが厳重して のけります你何を体を占める 物えんれている 発行姿勢を変変させる。これを真正でに伸ばしたり、無いのリンでは確定。 親福可可動物 (於地の機大江本 ルロハカロー 川次(ウイ)が体を纏い、別表にある :長線形が作りよされる(羽本とは息舞 矢われ、かるようなが残れるいわれている) 体を指いのにしたり保温機能を活列をおもつ の「神経魔ラ毛状活物でき) THE PARTY OF THE P 息の吊路は 息の骨は、扁端に軽くて、迫丈を降組がです 見の頭の夢は了 軽い強い骨が、这種し合いたもの同ま多数くっつき合っと のふつうの見の弱蓋骨は大変軽く、大きな眼窩が 不愛く不事力りないある情格を付っている 質量肩甲管用骨 有り後ろの方にがあるなかプレスカットのものである は、極端に頭をターがアナリの骨になっている の急の頭骨は、とてもうすく、軽く、頑丈にお来ている 仙雷と骨盤は中空の準、株を上はがり軽く発い。 101~221の発機型で作品では場合は質配を記る 個的學は少數の學的於心不融合 /本の丈夫な棒になったいる 多くの認合しな骨の中で舌骨は分離 物帯は、とくも長く薄×平たくのでいる 下顎は自由に動かせる。それ以外の骨は、 空与银小点。夏《颜月四(和春文学特殊) 頑丈な平滑の弱骨を形成している 、知道状:點之如后學的內部 頭骨の精動面上がの国 リヤで得かなうになった良は、他の動はあかす。 のからりしたはを引の骨を出みですが、佐は の望ま上下むのにとても (見のものもかまたきま) 全く異なる場合なもつ の島の総の中で最も大きな体積を占めるのが相当 軽く去まさいる 望を動かす筋肉が発達し、約筋肉が付着があり 力が必要なので、島は ○帝に空気と同じ位で、中がかりんどう つかさとる部位、横はりまいはあるか されな母として胸骨の中央が板状に(部底の様な歌題) 翼を勧かす時の筋肉が 中は空湖水が、軽い、円卸の及社が補強して山 脳の大体がかりが程度のあに使われている 受益し、童母変起となった、冬崎橋は網門内に収まている。 文をなるた、胸が動 の哺乳期の帯は? O島の対力は、人間のケーを治とまわれる程橋 要を激しくははためと発明する名は筋を発達者と する何のないのといか、伊優在で活たされている 大知解南的付着出来 dizuid. 0學語の強工(學習一体重如比代見時變によ、復發) 老智安起 女大年17 提に、和安に対す

空起が為る

収からみかでカン製を195cm 御動 イカケタ





# Traveling exihibition at



## < Outline >

• What is CZSC?

How we cooperate to?

(クラブの運営体制と連携館園について)

Our club goals and activities.

(クラブのねらい・活動内容について)

Voice from members and coordinators.

(参加者と関係者の声)

• Future steps.

(今後の展望と課題)

# Voice from Club members, their parents and volunteers

- ●Same program for all members could lead to quite miscellaneous interests in the research topics chosen by Club members.

  It is astonishing and great! (Club members and supporting volunteers) 同じ8回を受けたのに、みんなが違うことに興味を持って調べていたのが面白かった。驚いた。
- ●I had many experiences and made new discoveries, which would have never been possible otherwise. (Club member) 普段は見られないところ、新しい発見がたくさんあって良かった。
- ●I enjoyed the presentation meeting. I felt very nervous first but got selfconfidence from the presentation.

Various views presented by others were very illustrative. (Club member) 発表がとても楽しかった。最初は緊張したけど、自信がついた。みんなのいろいろな発表を見るのがよかった。

●It was moving to see how serious children have been in CZSC. Backyard tour and presentation meeting were both great. How precious experiences children have had! CZSC reminded us how children were good and promising. (parents and supporting volunteers)

子どもたちが真剣に取り組んでいる姿に感動しました。バックヤードツアーや発表会など、貴重な経験ができる機会だった。子どもたちのすばらしさを改めて発見した。

# Voices from organizing members of CZSC









 Interaction within three organizations makes CZSC programs deepen and wider.

異なる資源を互いに活用することでプログラムに多様性と深みが生まれる。

•Friendly relationship has been formed among staffs of three organizations and will boost further collaboration among them.

顔が見える関係になり、クラブ以外のことでも相談しやすくなった。

## < Outline >

• What is CZSC?

How we cooperate to?

(クラブの運営体制と連携館園について)

Our club goals and activities.

(クラブのねらい・活動内容について)

● Voice from members and coordinators. (参加者と関係者の声)

• Future steps.

(今後の展望と課題)

#### **Works for future CZSC**

OProgram development

for connecting the permanent exhibitions of three organizations. クラブだけではなく、各園館の常設展示間をつなぐ常時利用されるプログラムの開発

Research of the changing of members after the club.

クラブ生のプログラム前後の変化の追跡

● Evaluation by outside specialties

連携プログラムの客観的な評価が必要 (例:大学の先生など)

Strengthen our connections.

(e.g., in anchor persons and budget)

継続させるための各館園の体制整備が必要 (例:担当者の引継ぎ、予算調整など)

